



国際連携

地域社会と世界をつなぐ、人・文化・産業の拠点化

～静岡とアジアの架け橋に～ アジアブリッジプログラム (ABP)

■外国人留学生を対象としたユニークなプログラム

アジアブリッジプログラム (以下、ABP) は、学士課程・修士課程で開講し、入学から大学生活、卒業後の就職までを一貫して支援する本学の特徴的な留学生受け入れプログラムです。学士課程 (10月入学) は、アジア5か国 (インド、インドネシア、タイ、ベトナム、ミャンマー) の留学生を対象とし、入学後半年間の日本語学習などの初学期教育を経て、4月から各学部で日本人学生と共に学びます。入学検定料、入学金、1～4年目の授業料が全額不徴収 (2年目以降は所定の成績要件を満たす必要あり) です。アジア16か国の留学生を対象とした修士課程 (10月入学) も授業料が不徴収で、総合科学技術研究科情報学専攻、理学専攻、工学専攻、農学専攻、山岳流域研究院のいずれかに所属し、全科目英語のみで提供されるABPプログラムに基づいて学びます。学士課程は日本国内の企業でのインターンシップを必修とし、就職支援としては、留学生が企業と交流する機会をより多く設けるなどのキャリア支援を行っています。国際展開する静岡県の企業や自治体との連携のもと、静岡とアジアの架け橋として活躍する人材を育成することを目指しています。



卒業を祝う留学生たち

ABP学生の卒業後の主な国内就職先 (順不同)

遠州鉄道、京セラ浜松、東芝キャリア、ヤマハ発動機、ASTI、スズキ、モアソンジャパン、静岡銀行、富士通、全日空、パナソニック、ヤマハコーポレート、本田技研、ソミック石川、浜名部品工業、三恵、トヨタ紡績、ユニバース、小楠金属工業、小糸製作所 など

■ABPは2025年で10周年を迎えます!

2015年に開講したABPは、今年度10周年を迎えます。2024年度までに学位を取得した留学生を430名以上輩出しました。このマイルストーンを祝うABP10周年記念事業では、卒業した留学生、在校生、産学官関係者のコミュニティ形成を図ります。今年度は本事業を通して、知識と人材の循環を高め、企業の海外展開や、多文化共生社会における留学生人材のさらなる活躍を促進し、ABPの地域社会へのインパクト向上につながる様々な活動を実施します。



『日本留学AWARDS』

7度目の受賞!

本学は「留学生にすすみたい大学」として、一般財団法人日本語教育振興協会が実施する2025年日本留学AWARDS (国公立大学部門) を受賞しました。



グローバルな視点と行動力を備えた国際的人材の輩出 国際交流・国際教育の拠点構築

■長期的かつ強固な関係性の構築を目指して

本学は、世界32か国に所在する112の機関と提携 (部局間協定を含む) しており、国際的なネットワークの構築に努めています。協定に基づき、学生や教職員の相互交流、共同研究の推進、留学プログラムの連携、ダブルディグリープログラムの構築など、多岐にわたる国際交流活動を積極的に展開しています。最も長い事例は1979年からのアメリカのネブラスカ大学オマハ校とのパートナーシップとなり、45年以上の歴史があります。また、中東欧やアジアにも幅広く協定校があり、年々その数は増えています。このような長期的で広い協力関係は、本学と協定校が相互に理解と信頼を積み上げてきた成果です。今後も培ってきた広い繋がりを通じて、世界の多様な文化や価値観を理解し、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成に力を注いでいきます。



留学生体験記 ～自身のあゆみを振り返り次世代へバトンを渡す～

困難を乗り越えた経験が確かな自信に

総合科学技術研究科
情報学専攻 池田 脩平 さん

【問題解決能力と自信を育んだ留学】

私は2023年の8月から約10ヶ月間、アメリカ合衆国のネブラスカ大学オマハ校 (UNO) に留学しました。この留学を通して、私は問題解決能力と自信を大きく育むことができました。まず、この留学生活は私にとって初めての一人暮らしでもありました。到着した瞬間から、知り合いのいない環境で生活基盤を一から整え、困りごとは自分の力で解決していくという経験は、慣れ親しんだ日本での生活からは想像できないくらい大変なことが多くありました。また、言語の壁はもちろん、文化の違いがある中で自分がどう行動するべきかという判断には、常に頭を悩ませました。留学を振り返ってみて、この留学で得た一つ一つの成功経験が確かな自信となり、自分の力で道を切り開く感覚を身につけることにつながったと実感しています。



慣れない環境で切磋琢磨し合ったイギリス人ルームメイトと

静岡で築いたつながりと学び

人文社会科学部社会学科
ABP留学生コース ジョフィ ナタニア さん

【未来への道を拓いたかけがえのない経験】

静岡大学で過ごした日々を振り返ると、本当に多くの学びと出会いに恵まれました。哲学・倫理学を専攻する中で、卒業論文のテーマを見つけるまでには迷いや悩みもありましたが、先生方からの温かいご指導と的確な助言をいただいたおかげで、自分の将来の夢ともつながる課題を見つけることができました。先生方は常に励まし支えてくださり、そのおかげで卒業論文の研究にも前向きに取り組み、学ぶ楽しさを感じることができました。また、日本で出会ったホストファミリーとのご縁は、私の留学生生活を大きく豊かにしてくれました。ホストファミリーが運営するNPOを通じて、地域でのボランティア活動に参加し、母国インドネシアで続けてきたボランティアを静岡でも継続することができました。地域の方々とのつながりを持てたことは、私にとってかけがえのない経験となり、日本での生活をより温かく感じさせてくれました。



仲間とボランティア活動に動しむジョフィさん (右から二番目)



協定校一覧 (大学間)

